

山口情報芸術センター(YCAM) プレスリリース

創作ネットワーク委員会+Ort-d.d プロデュース

昏 睡

人類史に想いを馳せる二人芝居7編からなるオムニバス、
各編を全国各地で製作し統合するコラボレーション！
2005年2月、東京・山口・宮崎にて上演

山口公演

日時：2005年2月19日(土)19:00～／20日(日)14:00～

会場：山口情報芸術センター(YCAM) スタジオA

主催：創作ネットワーク委員会、財団法人山口文化振興財団

■創作ネットワーク委員会とは

倉迫康史（Ort-d.d 東京都・宮崎県宮崎市）を代表に、久保田修司（POP THEATE 山口県柳井市）、泊篤志（飛ぶ劇場 福岡県北九州市）、森本孝文（演劇企画夢 ORES 鳥取県鳥取市）、永山智行（劇団こふく劇場 宮崎県都城市）によるネットワーク組織。東京国際芸術祭リージョナルシアターシリーズやこまばアゴラ劇場でのサミット、利賀フェスティバルなどで出会い、交流を重ねてきた5人が、「地域同士の連携による演劇界と地域文化の活性化」を目指し結成。

■創作ネットワーク委員会からご挨拶

地域における「芸術文化の振興」のための有効策として、「各地域のネットワーク化」が唱えられるようになってから、数年が過ぎました。その間、公共ホールの制作面でのネットワークや劇団同士の私的なレベルでの協力体制は敷かれるようになり、一定の成果を挙げてきました。しかし、現場の演劇人のネットワークによる新たな創作スタイルの提案はこれまでなされていません。

私たちはここ数年、互いの地域を行き来しながら、互いの作品を見、対話を重ねてきました。その成果として、私たちの間には作品的な信頼と人間的な信頼によって結ばれた自発的なネットワークが生まれました。また、幸いにも現在ではそれぞれが各地域の演劇界で重要な役割を担い、作品的にも全国にその名を知られるようになってきました。今こそ、私たちのネットワークを活かすことで、演劇界に新たな提案をできる時ではないかと考えたのです。

そこで私たちは、演劇人のネットワークを活かした新たな創作のカタチとして、今回の『昏睡』の上演を企画しました。「各地域を代表する演劇人が協力して一本の作品を創り、全国へと発信すること」によって生まれる刺激と交流によって、私たちはそれぞれの地域と日本全体の芸術文化の活性化に貢献できることを目指します。

創作ネットワーク委員会

委員長	倉迫康史	（Ort-d. d/東京・宮崎）
委員	久保田修治	（POP THEATER 山口/柳井）
	泊篤志	（飛ぶ劇場/北九州）
	永山智行	（こふく劇場/都城）
	森本孝文	（夢ORES/鳥取）

■本企画が提案・発信するもの

本企画を通して、二つの新しい創作スタイルを提案・発信します。

①人的ネットワークを創作ネットワークへ

創作におけるネットワークはデジタルネットワークと違い、人と人とのつながりが大事です。作品的な信頼に加え、人間的な信頼をなくして創作ネットワークは形成できません。またそうした人間的な信頼を獲得するにはフットワークを活かした相互交流の蓄積が必須です。ネットワークとはフットワークなのです。

本企画は創作ネットワークのメンバーである各地域の演劇人が、ここ数年育んできた人的交流のネットワークを、もう一段引き上げて創作のためのネットワークへと発展させる企画です。演劇人同士の交流とその演劇人が住む地域同士の交流を創造の前提とするために、演劇人同士の間、地域間の交流がより深く行われます。

②レジデンスに並ぶ創造環境の獲得

地域を越えた創作を行うには、アーティストが宿泊できるレジデンス施設が必要ですが、その整備を行うにはまだまだ時間がかかると思います。またレジデンス施設を備えていても、演劇のように多人数が長期間滞在する創造活動にはやはりコストがかかり過ぎます。

そこで発想の逆転を試みます。各地域の俳優を一ヶ所に集めて長期間稽古するのではなく、各地域で稽古を行い、その各地域を一人の総合演出家が回り、地域在住の演出家と協力して創作を行います。そして創作の最終プロセスを全員が集まって行い、一つの作品に仕上げます。

こうした創作スタイルが可能であることを本企画が実践すれば、以後、地域の枠組みを越えた合同企画の実現に向けての大きな励みになると考えられます。

創作ネットワーク委員会はこの二つの創作スタイルを提案することで、各地域の演劇人および芸術文化を元気にしたいと考えています。

■作品の紹介

兵士と捕虜、国王と女王、老夫婦、不倫のカップル...、
『眠り』につく7組の男女が登場する二人芝居の連鎖。

それは中心の無い世界地図か、書かれなかった歴史書か。

数々の戯曲賞で評価された南の作家が書いた現代の神話に
各地でリーダーシップを発揮する俊英の演出家たちが挑む。

果たして、こんなことが本当に可能なのか？

「眠る眠る　　祈る祈る
今日を終わらせ　　明日を夢見る
やがて訪れる　　昏睡　　は
永い祈り　　になるだろう　　.....」

これはニッポンを横断する現代演劇の冒険である

『昏睡』は宮崎県都城市を拠点にする劇団こふく劇場の劇作家・永山智行による新作であり、永山いわく「創世記を背景に人類史を描く」という壮大なテーマを持った作品です。7組の男女によるオムニバスで構成され、それぞれが独立したシーンでありながらも、全てを見ると一つの大きな感動を呼び起こす内容となっています。この7つのシーンを各地域で振り分け、各地域の演出家と総合演出家が共同で創作を行います。

(作家・演出のプロフィールは次頁以降をご覧ください)

俳優は各地域で選抜。その後、各地域の演出家と協力しながら、倉迫が各地域を移動し稽古をつけます。公演一週間前から全ての出演者が宮崎に集合、合宿稽古により一つの作品としてまとめあげます。

■プロフィールとコメント

永山智行（こふく劇場・宮崎）

「冒険の為の地図を書いてみた。

現代演劇の最前線で戦う日本各地の演出家と俳優が、その地図を頼りにかつてない冒険の旅に出ようとしている。臆病者の私は遠く離れた灯台の一室に籠り、固唾を飲み、その旅の行方を見守っている。せめて手を合わせ、この旅が、現代演劇の新しい地平を切り開くものとなるよう、強く祈ろう」

劇団こふく劇場代表（1967年生）

96年の『空の月、胸の石』、97年の『北へ帰る』で二度、日本劇作家協会新人戯曲賞最終選考に残る。01年『so bad year』で愛知県文化振興事業団主催の第二回AAF戯曲賞優秀賞受賞。02年『やがて父となる』で東京国際芸術祭リージョナルシアター・シリーズに招聘される。宮崎県演劇協会会長

倉迫康史（Ort-d.d・東京/宮崎）

「私は人と人をつなぐことが好きだ。私が演劇をやっているのは、そのつながりを生みたいからに他ならない。私以外の4人はそれぞれの土地で現代演劇という樹木を育てるために、荒野を開拓し、水を注ぎ続けてきた人たちばかりだ。その開拓者としての勇気と粘り強さに魅力を感じ、僕は彼らとつながってきた。その個々のつながりを今、一つの大きな絆にしてみせる。競い合い、協力し合うことで、より太いつながりとより強い勇気を得るために。そうすればやがて樹木は威風堂々とした大樹となる」

Ort-d.d プロジェクトリーダー（1969年生）

Shizuoka 国際芸術祭、利賀フェスティバルなど多くの演劇祭に招聘される。

04年、こふく劇場との合同公演『so bad year』で東京国際芸術祭リージョナルシアター・シリーズにFRINGE参加。同年、国の重要文化財である東京国立博物館表慶館にて『四谷怪談』を上演。舞台芸術財団演劇人会議評議委員・宮崎の文化を考える懇談会委員

自由下僕【久保田修治】(POP THEATRE ㊦・山口)

「周りに演劇をやっている人などいない地域で活動していると、他の劇団との共同作業なんて一生することはないだろうと思っていた。それが、こんな画期的な形で実現しようとは！しかも相手は、一度は一緒にやってみたいと思っていた人たちばかりである。他のチームの仕上がりを気にしながらの稽古は、これまで以上に刺激的で楽しい。さて今回は、ホームグラウンド以外ではお見せしたことの無い『会話劇ではないPOP THEATRE ㊦』。必見！」

POP THEATRE ㊦ 代表 (1958 年生)

00年の『蛇口』と02年の『空』で二度の東京国際芸術祭リージョナルシアター・シリーズ招聘。『蛇口』は日本劇作家協会新人戯曲賞最終選考に選ばれる。00年より本拠地「みどり会館」にてIKACHI国際舞台芸術祭を主催。03年より特定非営利活動法人IKACHI国際舞台芸術祭として法人化、理事長に就任

泊 篤志 (飛ぶ劇場・北九州)

「日本各地でオムニバスを創り、1本の作品に結集させるだなんて企画、ありそうでなかなか無かったことじゃないかと思う。やれそうだけど意外に大変だと思う。各地域の温度差とかあるし（って体温とか気温では無いよ、それもあるけど）。その一端を担うことが出来て光栄、というか大変。負けられんしね。永山氏の永山氏らしからぬ戯曲もコチラの想像力を掻き立ててくれる野心作で、受けて立とうじゃないの！と思う。出来上がってきたピースが合体したら、どんな姿になるのか？参加者という立場で無くても楽しみだったりする。」

飛ぶ劇場代表 (1968 年生)

『生態系カズクン』で日本劇作家協会新人戯曲賞最優秀賞受賞。00年『IRON』が岸田國士戯曲賞最終候補に選ばれる。99年の『IRON』と02年の『ミモココロモ』で東京国際芸術祭リージョナルシアター・シリーズに招聘。04年、青山円形劇場にて『生態系カズクン』と『カズクン、旅に出る』を上演。北九州芸術劇場学芸係ディレクター

森本孝文（演劇企画 夢 ORES・鳥取）

「倉迫氏と「地域間ネットワーク」というキーワードをここ何年間か一緒に考えてきた。その一つの答えとして彼の出してきた企画は・・・ムフッ！！プロデューサーとしての仕事に追いかけられていたが、コイツはしっかりと踏ん張って。久しぶりに血がたぎるといふか、燃えるといふか・・・しかしいい歳なので血圧に気をつけながらも、一丁やりますかって感じにさせてくれました。力強い仲間達（ライバル）を得て、ここから何かを始められなければ男じゃないぞ！」

演劇企画 夢 ORES 代表（1959年生）

01年舞台芸術活性化事業として『本日はお日柄もよく』を作・演出、平田オリザ氏を共同演出に迎える。アートデザインとっとり副委員長に就任、02年よりとっとりパフォーミングアーツフェスティバルのディレクターをつとめる。BeSeTo 国際委員会日本委員、舞台芸術財団演劇人会議評議委員、鳥取大学地域教育科学部非常勤講師

■公演概要

スタッフ：作 永山智行（こふく劇場・宮崎）
演出 倉迫康史（Ort-d.d・東京/宮崎）
自由下僕（POP THEATRE ㊦・山口）
泊 篤志（飛ぶ劇場・北九州）
森本孝文（演劇企画 夢 ORES・鳥取）
総合演出 倉迫康史
美術 伊藤雅子
照明 木藤 歩（balance,inc.）
衣裳 竹内陽子
ヘアメイク 田丸暦・谷直美
舞台監督 弘光哲也

キャスト：泉 陽二（東京） *元東京オレンジ。グラフィクエルディ所属
市川 梢（東京）
岡田宗介（東京）
田丸こよみ（東京） *元指輪ホテル。Nest などにも出演
三橋麻子（東京）
宮島 健（東京） *第三エロチカ俳優。オフィスコッターネ所属
山路 誠（東京） *ユニークポイント俳優
国崎砂都美（POP THEATRE ㊦・山口）
西田純子（POP THEATRE ㊦・山口）
有門正太郎（飛ぶ劇場・北九州）
寺田剛史（飛ぶ劇場・北九州）
橋本 茜（飛ぶ劇場・北九州）
あべゆう（こふく劇場・宮崎）
上元千春（こふく劇場・宮崎）

主催 創作ネットワーク委員会
製作 Ort-d.d
助成 財団法人セゾン文化財団
協力 NPO 法人アートネットワークジャパン
問合せ Ort-d.d 東京事務所 TEL.090-5204-8941 FAX.042-522-1418
ort@m78.com <http://ort.m78.com>

〒190-0023 東京都立川市柴崎町 1-7-17-201

■山口公演概要

日時 2005年2月19日(土) 19時開演／20日(日) 14時開演
* 開場は開演の30分前。受付開始は開演の60分前

会場 山口情報芸術センター・スタジオA
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 083-901-2222 <http://www.ycam.jp/>

料金 前売当日共 一般2000円 エニ一会員等割引1500円 学生B席1000円
(全席指定)

発売日 12月11日(土)

取扱い 山口情報芸術センター 083-920-6111 (受付時間10:00～19:00)
火曜休館(祝日の場合は翌日)
ローソンチケット:0570-063-006 Lコード:66164

問合せ 山口情報芸術センター TEL.083-901-2222 FAX.083-901-2216

主催 財団法人山口市文化振興財団

企画制作 創作ネットワーク委員会 山口情報芸術センター

助成 財団法人地域創造 財団法人全国市町村振興協会

* 関連シンポジウム「地域をめぐる冒険」 入場無料

日時 2005年2月16日(水) 19:00

会場 山口情報芸術センター 1F ホワイエ

昏睡各演出家と山口市で活動する演劇人による地域における演劇活動の可能性を
探るシンポジウムを行います。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

JR新山口駅から

- ・ JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分／タクシー5分
- ・ JR山口線山口駅下車、徒歩20分／バス10分(中園町か済生会病院前下車)／タクシー5分
- ・ 防長バス25分、中園町下車

自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東ICから30分
- ・ 九州・中国自動車道で小郡ICから15分

<お問い合わせ>

山口情報芸術センター(企画担当:岸、四元／広報担当:小滝)

山口県山口市中園町7-7 〒753-0075

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 info@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>

■その他の公演

【宮崎公演】

日時 2005年2月12日(土) 19時 / 13日(日) 14時
* 開場は開演の30分前。受付開始は開演の60分前

会場 門川町総合文化会館 0982-63-0002
〒889-0611 宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末 1140-8

料金 前売・当日共 一般 2000円 高校生以下 1500円

発売日 12月12日(日)

チケット 門川総合文化会館 0982-63-0002
ローソンチケット 0570-063-008 (Lコード 86312)
劇団こふく劇場 0986-26-6422 gekijo@cofuku.com

問合せ 門川町総合文化会館 0982-63-0002 / 劇団こふく劇場 0986-26-6422

主催 財団法人門川ふるさと文化財団

【東京公演】

東京国際芸術祭参加・にしすがも創造舎での初の演劇公演

日時 2005年2月24日(木) 19時30分
25日(金) 20時
26日(土) 15時・19時30分
27日(日) 14時
28日(月) 15時・19時30分
* 開場は開演の30分前。受付開始は開演の60分前

会場 にしすがも創造舎 特設劇場 03-5961-5200
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 旧朝日中学校 <http://anj.or.jp>

料金 前売・当日共 一般 3000円 学生 2000円
* 全席自由。当日受付にて整理番号を配布します。
* 学生の方は受付で学生証を提示してください。

発売日 1月14日

取扱い チケットぴあ 0570-02-9988 (オペレータ対応) <http://t.pia.co.jp>
0570-02-9966 (音声自動応答)

東京国際芸術祭 (TIF) TEL.03-5961-5202 <http://tif.or.jp>

Ort.d-d TEL.090-5204-8941 ort@m78.com

共催 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン